

内科領域における TA-058 の臨床的検討

富井 正邦・本間 光夫

慶応義塾大学 内科

TA-058 は新しく開発されたアモキシシリン誘導体でグラム陽性菌ばかりでなく、グラム陰性菌に対しても殺菌的に作用する。また、血清中蛋白結合率が低く、静注、点滴静注、筋注により速やかに高い血中濃度が得られ、半減期も長いとされる¹⁾。

今回、TA-058 を使用する機会を得たので、各種感染症における効果および副作用を検討した。

対象ならびに方法

慶大内科入院中、感染症を発症した 6 例を対象とした。対象例の性別は女性 3 例、男性 3 例で、年齢は 25 歳より 70 歳に及び、6 例中 6 例に何らかの基礎疾患を認めた。

TA-058 は 1 回 2 g、1 日 2 回点滴静注で投与した。各対象例について、TA-058 投与前および終了後の臨床症状、起炎菌の変動ならびに副作用（含む検査値異常）について検討した。

効果の判定は以下の如くとした。すなわち、著効(excellent)：TA-058 使用期間中または終了直後に臨床症状の完全改善と起炎菌の消失をみたもの。有効(good)：臨床症状の改善と起炎菌の消失ないし減少をみたもの。やや有効(fair)：臨床症状の改善あるいは起炎菌の消失ないし減少をみたもの。

成績

対象例の年齢、性別、感染症、基礎疾患、起炎菌、TA-058 投与量と日数、効果を Table 1 に示す。

A. T. 例は急性腎盂腎炎で、尿中より有意の *E. coli* が検出された。TA-058 投与中に臨床症状は消失し、起炎菌も消失したため著効と判定できた。

N. T. 例は細気管支炎で、*Providencia stuartii* と *P. aeruginosa* が痰中に検出された。TA-058 投与中より解熱を認め、痰中の *Providencia* は消失したため有効と判定した。*P. aeruginosa* は不変であった。

N. S. 例は気管支肺炎で、痰中より *S. aureus* が検出された。点滴困難のため TA-058 を 3 日間しか投与できなかったにもかかわらず解熱と菌消失があり有効と判定できた。

O. Y. 例は *H. influenzae* による髄膜炎で、後述する

事情のため TA-058 投与を 3 日間しか行えなかったが解熱と菌消失ありやや有効と判定できた。

H. Y. 例は無ガンマグロブリン血症を基礎疾患とする化膿性脊椎炎で、このため TA-058 長期投与を余儀なくされた。最終的に骨レ線改善は明らかであった。しかし起炎菌は頻回の骨生検培養にもかかわらず不明で、判定は有効となった。

N. K. 例は急性胆嚢炎で、臨床的改善は著明であったが起炎菌不明のため判定は有効であった。

副作用は、全例で自・他覚的に認めなかった。O. Y. 例で TA-058 投与中に皮疹が出現したが、原病（若年性関節リウマチ）の皮疹であることが、リウマチ科専門医および皮膚科医により後日確認された。

TA-058 投与前後の各種検査成績は、Table 2 に示す血色素量、白血球数、GOT、GPT、アルカリフォスファターゼ、クレアチニンで何等異常を認めなかった。さらに、尿所見、血清電解質、直接/間接クームス試験等でも全く異常を認めなかった。

結 論

1) 腎盂腎炎、細気管支炎、気管支肺炎、髄膜炎、化膿性脊椎炎、胆嚢炎各 1 例に TA-058 を 1 日 4 g 投与した。この結果、著効 1、有効 4 と（有効以上の）有効率は 83% であり、残る 1 例もやや有効であった。

2) 全例で自覚的、他覚的に全く副作用を認めなかった。また、投与前後の各種検査所見に異常値はなかった。

3) TA-058 はその臨床的効果および安全性から、内科領域の感染症に有用な薬剤と考えられる。

文 献

1) 田辺製薬編：TA-058 の資料，1981

Table 1 Clinical studies on TA-058

Case	Sex	Age	Diagnosis	Complication	Organisms	Daily dose (g)	Duration (day)	Clinical effect
A. T.	F	70	Acute pyelonephritis	Polyarteritis	<i>E. coli</i>	4	6	Excellent
N. T.	M	52	Bronchiolitis	Diabetes mellitus	<i>Providencia?</i>	4	6	Good
N. S.	M	70	Bronchopneumonia	Diabetes mellitus Cerebral infarction	<i>S. aureus</i>	4	3	Good
O. Y.	F	25	Meningitis	Juvenile rheumatoid arthritis	<i>H. influenzae</i>	4	3	Fair
H. Y.	F	35	Suppurative spondylitis	Agammaglobulinemia	Unknown	4	93	Good
N. K.	M	44	Acute cholecystitis	Liver cirrhosis	Unknown	4	5	Good

Table 2 Laboratory findings before and after TA-058 administration

Case	Hb (g/dl)		WBC (/mm)		GOT (I. U.)		GPT (I. U.)		Al-P (I. U.)		Cr (mg/dl)	
	B*	A*	B	A	B	A	B	A	B	A	B	A
A. T.	10.8	9.8	10,300	6,000	18	12	11	9	116	96	1.1	1.0
N. T.	11.7	9.3	8,100	7,500	12	8	14	4	212	204	1.0	1.0
N. S.	12.2	12.4	10,200	6,300	14	11	6	3	224	222	1.0	1.0
O. Y.	6.2	5.8	300	200	420	64	356	51	443	242	1.0	1.0
H. Y.	12.2	12.4	5,300	6,100	8	10	6	8	282	276	1.0	1.0
N. K.	12.1	11.5	11,300	5,000	106	66	92	38	412	340	1.0	1.0

* B : Before A : After

CLINICAL STUDIES ON TA-058 IN THE FIELD OF INTERNAL MEDICINE

MASAKUNI TOMII and MITSUO HONMA

Department of Internal Medicine, School of Medicine, Keio University

Four grams of TA-058 were administered to 6 cases including acute pyelonephritis, bronchiolitis, bronchopneumonia, meningitis, suppurative spondylitis and acute cholecystitis. The clinical results were as follows; excellent in 1, good in 4 and fair in 1 cases.

No side effects were found including laboratory data of urine, peripheral blood, renal and hepatic function.